

持田古墳群(児湯郡高鍋町)

持田古墳群の位置図/4世紀から6世紀にかけて造営された古墳群で、児湯郡(こゆぐん)高鍋町の小丸川左岸の台地に大小合わせて85基が現存している/まずは1号墳から!



これが1号墳(計塚/はかりづか)/4世紀後半築造の前方後円墳で、埋葬施設は狭長な竪穴式石槨に納められた舟形木棺だったらしい/後円部を見たところ



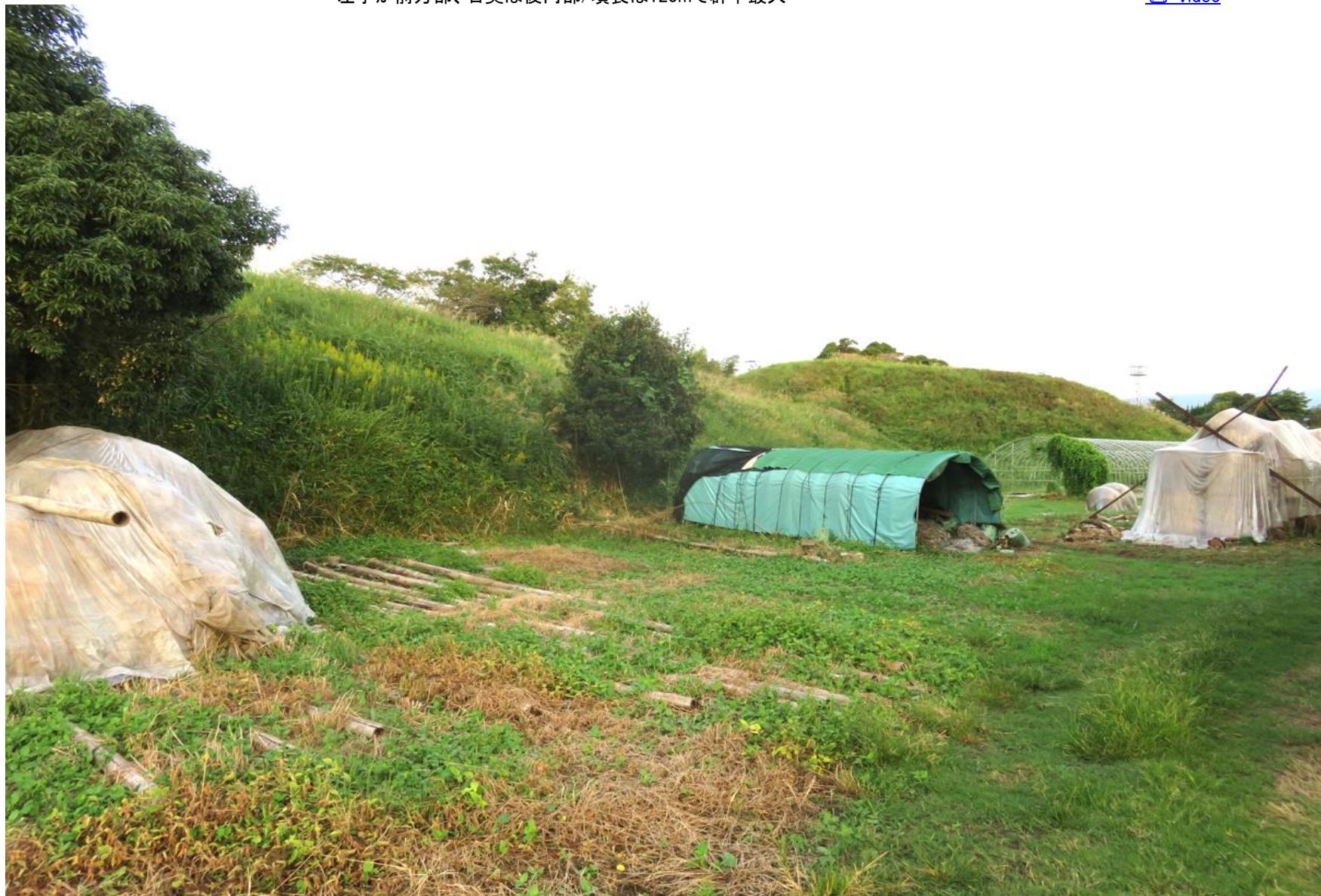
民地内のようなので、道路から覗いたところ/括れ部の辺り/右手が後円部、左手は前方部

[\[動画\]](#) [video](#)



左手が前方部、右奥は後円部/墳長は120mで群中最大

 [video](#)



国指定史跡 持田古墳群

指定年月日 昭和三十六年二月二十五日

古墳が散在するこの地は標高約五十メートルの洪積台地で、東に日向灘、西に霧島山、北に尾鈴山が望まれる景勝雄大の地である。

五世紀から六世紀頃にかけて築造された、われる

古墳のうち、大小種々様式をもつ八五基（前方後円墳一基、円墳七五基）が国の史跡として指定されたり、周辺には縄文・弥生時代の遺跡も多々。前方後円墳の中には全長一百メートルを越すものもあり、次の古墳が著名である。

計 塚（舟形木棺）全長約二〇メートル

石舟塚（石棺）全長約四〇メートル

山の神塚

全長約四六メートル

亀 塚（木棺）全長約五〇メートル

昭和六十二年十月

高鍋町教育委員会

1号墳（計塚）、15号墳（石舟塚）、26号墳（山の神塚）を中心に見てみよう（こちらの説明板は少し古いようだ）

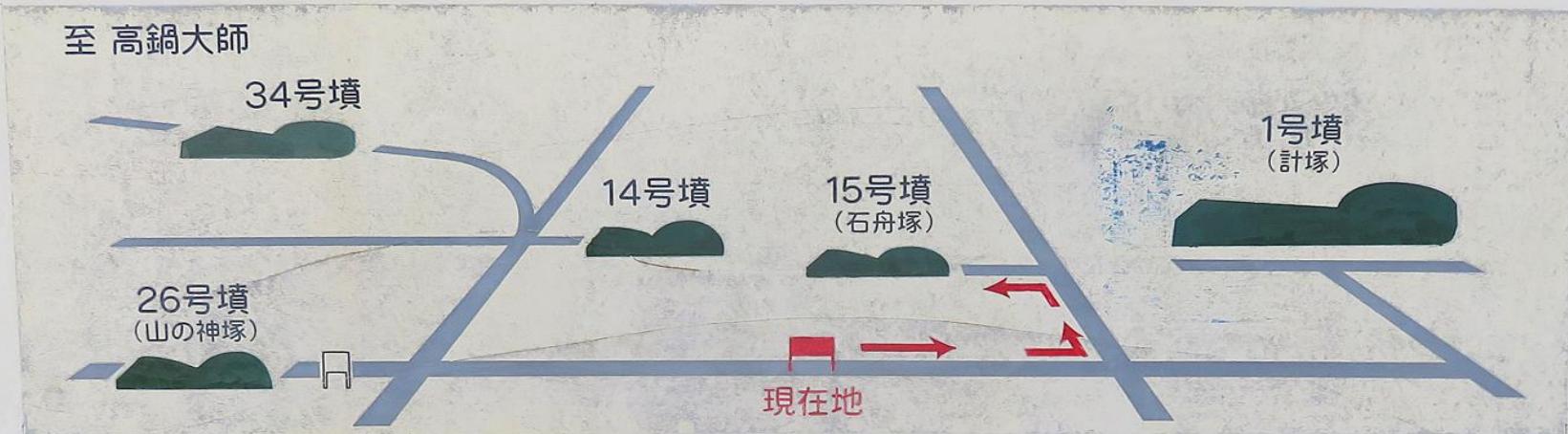
国指定史跡

もちだ

持田古墳群案内図

指定年月日

昭和36年2月25日



この古墳群は4世紀から6世紀にかけて
作られた85基の古墳があります。

この台地上には、前方後円墳9基と、円墳
66基があります。前方後円墳で最大のものは、
第1号墳（計塚）で、墳長が120m、
後円部の高さは約11mあります。

——古墳を見学するみなさまへ——

- 畑の中に入ったり、作物をふみつけたりしないで下さい。
- 15号墳（石舟塚）へは矢印のようにまわり道して下さい。

高鍋町教育委員会

前方が前方後円墳の15号墳(石舟塚)/その左奥に、やはり前方後円墳の14号墳が見える

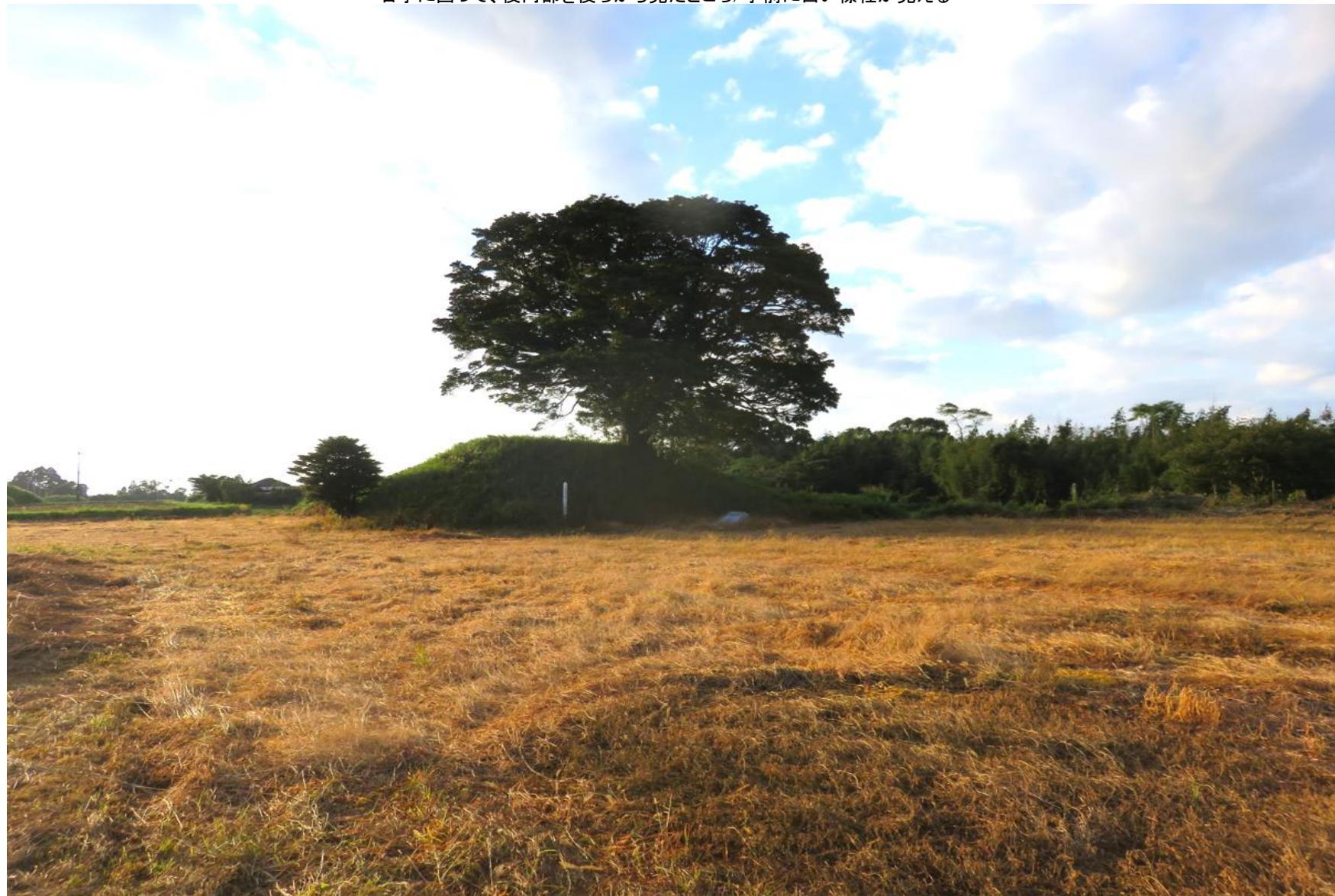
 [video](#)



15号墳(石舟塚)をアップで見たところ/左手が前方部、右手は後円部



右手に回って、後円部を後ろから見たところ/手前に白い標柱が見える



15号墳とある



左手が前方部、右手は後円部

 [video](#)



こちらは26号墳(山の神塚)/前方後円墳/右手前が前方部、左奥は後円部/左端に白い標柱が見える



括れ部を見たところ/左手が後円部、右手は前方部



そこで、右手に前方部を見たところ



同じく、左手に後円部を見たところ



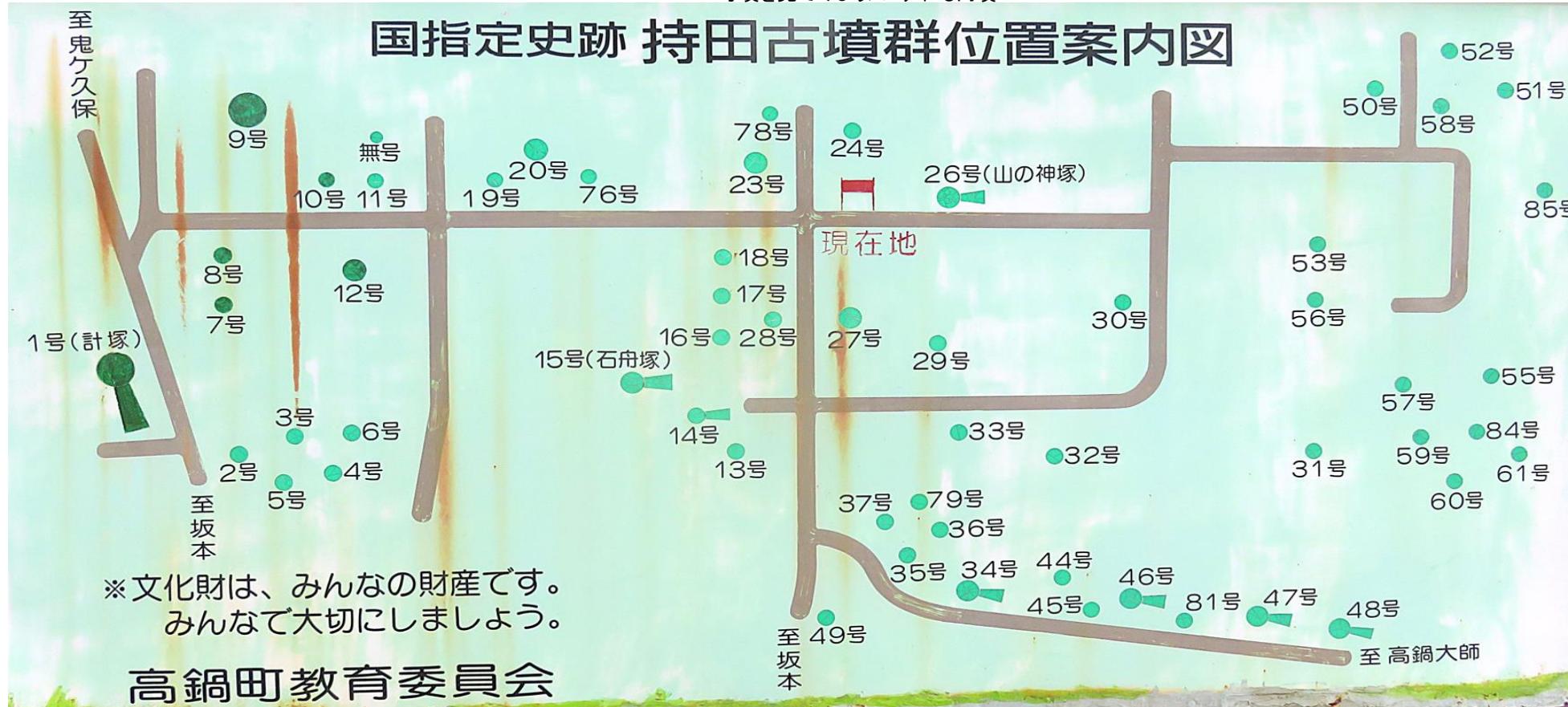
26号墳とある

 [video](#)



9・11・10・12・76号墳を見てみよう/いずれも円墳

国指定史跡 持田古墳群位置案内図



9号墳



11号墳/左奥は10号墳



12号墳

 [video](#)



76号墳/右手に標柱が見える



76号墳とある



まだまだ沢山の古墳が展開している



4世紀から6世紀にかけて造営されたということは、古墳時代の前期から後期までを通して綿々と古墳が築造され続けたということで、この地が人々にとってとても生活しやすい場所であったことを物語っているようだ

 [video](#)



